

## < 放射線科系コース >

### 研修概要

- 1年目：CT,MR,各種造影検査、各種核医学検査の原理と撮像プロトコールの特徴を理解し、基本的な所見のとり方、鑑別診断、さらに最終診断への考え方を学ぶ。血管造影手技の基本をマスターする。IVRの助手ができるようにする。院内各科及び院外におけるカンファレンスに参加する。
- 2年目：放射線科チーフ（もしくはサブチーフ）レジデントとしてすべての検査のプロトコールに責任をもつ。各画像診断の読影、鑑別診断、最終診断を行う。脳卒中総合センターなど救急放射線にもFirst callとして対応する。塞栓術、動注化学療法術の術式を習得し治療方針の決定をする。各科のカンファレンスの担当者となる。放射線治療の基本を習得する。他施設での研修option（画像診断及び治療：東京慈恵会医科大学放射線医学講座、IVR及び3次救急放射線：大田原赤十字病院、その他：他の都立神経病院）
- 3年目：放射線科チーフ（もしくはサブチーフ）レジデントとしてすべての検査のプロトコールに責任をもつ。1次認定試験合格後に画像診断・核医学・IVR、又は放射線治療のうちひとつを選考する。前者の場合はSubspeciality（分野別もしくはmodality別の専門分野）を選択し、専門学会にも所属し、臨床研究に従事する。後者の場合は放射線治療重点施設で研修を行う。
- 4年目：必要に応じ他病院での研修を行いながら、専門医第2次試験合格を目指す。

### 取得可能な手技

画像診断プロトコール管理、読影、造影手技、血管造影、IVRなど

### 取得可能な専門医受験資格

日本医学放射線学会放射線科専門医

### 指導体制

氏名	専門医資格	氏名	専門医資格
井田 正博	医学放射線学会専門医	萬 直哉	医学放射線学会専門医
日野 圭子	医学放射線学会専門医		